

## SDGsの達成に向けた具体的な取組みチェックリスト

作成日	令和7年6月27日
事業者名	SOU株式会社
形態	中小企業等

※形態の選択については、「ぎふSDGs推進パートナー登録制度」QA集を参照ください。

## 【登録基準】

- ◎中小企業等 各大項目で20%以上かつ 総合60%以上  
 ◎大企業等 各大項目で30%以上かつ 総合80%以上

大項目	中項目	小項目	達成率	基準の達成
			ガバナンス 70.0%	○
			環境 38.9%	○
			社会 69.6%	○
			経済 100.0%	○
			合計 65.0%	○
総合判定			○	

大項目	中項目	小項目	回答	ゴール・ターゲット
1 ガバナンス	管理体制	経営理念	・経営理念及び経営目標にSDGsの理念やゴールを取り入れており、かつ従業員に共有している	○ 8, 9
		組織体制	・CSR活動に関する方針・取組みを定めている ・リスクを特定し、資産・活動を保護するための方針・対策を定めている	○ 17.16, 17.17 ○ 16
		法令遵守	・法令遵守(コンプライアンス)に関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている ・法令遵守(コンプライアンス)に関する従業員への研修を実施している	○ 4.4, 16.5, 16.7, 16.10 ○ 16
		情報セキュリティ	・情報セキュリティに関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている ・情報セキュリティに関する従業員への研修を実施している	○ 4.4, 16.10 ○ 16
		個人情報	・個人情報保護に関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている	○ 16.10
		事業継続	・事故、災害、感染症などの発生時におけるBCP(事業継続計画)を策定している	○ 1.5, 11.5, 13.1
		情報公開	・環境情報、社会貢献活動などの情報をホームページ等を活用し対外的に公開している	○ 17.16, 17.17

7

大項目	中項目	小項目	回答	ゴール・ターゲット
2 環境	自然環境	生物多様性	・事業活動が生物多様性に与える影響を把握し、その対策を定めている ・生物の生息地、希少種・在来種の保全のため、地域に適した植林・植樹、里山保全活動等の活動を実施している	6.6, 15.1-15.5, 15.8 6.6, 14.1, 15.4, 15.5, 15.8
		天然資源の持続的利用	・天然資源の保全に配慮された、認証製品の利用を進めている(森林資源:FSC認証、パーム油:RSPO認証、ゴム:FSC認証、RSPO認証、コーヒー:レインフォレスト等、天然水産物:MSC認証、養殖海産物:ASC認証等)	12.2, 14.4, 15
	循環型社会	3R	・事業活動において使用・廃棄する紙の削減、再利用、再資源化を進めている ・事業活動において発生するプラスチックごみの削減、再利用、再資源化を進めている	11.6, 12.3-12.5 11.6, 12.3-12.5
		環境汚染予防	・自社の廃棄物の種類・量を把握しており、その削減に向けた目標がある ・自社が利用する有害化学物質の種類、量を把握し、適切に管理している	6.3, 11.6, 12.3-12.5 6.3, 11.6, 12.3-12.5
		水	・水源を含む水の使用状況を把握し、使用量の削減に向けた目標がある	6.1, 6.4
	脱炭素	温室効果ガス	・燃料の燃焼等による自社の温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の直接的な排出量(スコープ1)を把握している ・燃料の燃焼等による自社の温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の直接的な排出量(スコープ1)の削減に向けた目標がある ・他者から供給された電力・熱エネルギーの使用による温室効果ガス(二酸化炭素、フロンガス等)の間接的な排出量(スコープ2)を把握している	7.2-7.a, 11.6, 12.4, 13.3 7.2-7.a, 11.6, 12.4, 13.3 7.2-7.a, 11.6, 12.4, 13.3
	省エネ			
	再生可能エネルギー			
	その他			
		・環境に資する取組み( )	自由記載 非加点	

7

大項目	中項目	小項目	回答	ゴール・ターゲット
1 社会	人権	差別の禁止	・人権尊重、差別の禁止に関する方針を企業理念や社内規程(就業規則等)に定めている	○ 5、8.5、8.8、10.2、10.3、16.7
		ハラスメント禁止	・ハラスメント(セクハラ、マタハラ及びパワハラ等)の禁止を社内規程(就業規則等)に定めている	○ 5.1、5.2、8.8、10.2、10.3、16.1
		・ハラスメント(セクハラ、マタハラ及びパワハラ等)を防止するための取組みを実施している(研修の実施、相談窓口の設置等)	○ 5.1、5.2、8.8、10.2、10.3、16.1	5 ジャンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長 10 人や国の不平等をなくす 16 平和と公正をすべての人々に
4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23	労働慣行	労働安全衛生	・労働安全衛生の方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている	○ 8.8
		公正な待遇	・正規雇用者と非正規雇用者の職務内容と責任度合いを把握し、賃金・福利厚生等の待遇の基準を明確化している	○ 8.5、10.4
		面談、ヒアリング、アンケート等、年1回以上、従業員とのコミュニケーションの機会を設けている	○ 8.10.4	3 すべての人に機会と権利を 4 働きがいも経済成長 5 ジャンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長
		労働時間	・適切な労働慣行の実現に関する方針やルールを社内規程(就業規則等)に定めている	○ 3.4、8.5
		・過去1年間において、常用従業員(パートタイム労働者を含む)1人あたりの所定外労働時間が月10時間以下であり、月45時間以上の従業員がゼロである		8
		有給取得	・過去1年間において、期間を定めず雇われている労働者(パートタイム労働者を除く)の年次有給休暇の取得率が55%以上である	○ 3.4、8.5
		人材育成	・職務、役割等に応じた従業員への研修等が実施されている	○ 4.4、4.5、8.5、8.6
		健康経営	・従業員の健康維持のための具体的な取組みを実施している(定期健康診断の実施と診断結果のフォロー、健康増進に向けたイベント開催等)	○ 3.4、3.8
		女性の活躍	・女性管理職(課長相当職以上※役員を除く)比率、女性採用比率の目標を設定している	4.5、5.4、5.5、8.5
			・女性管理職比率が産業別平均値を超えている	4.5、5、8.5
			・男性女性の育児休業取得の促進、子連れ出勤等、仕事と育児の両立に向けた取組みを実践している	○ 5.8
			・女性のキャリアアップに向けた研修・セミナー等、女性の活躍に向けた取組みを実践している	4.5、5、8.5
	ダイバーシティ・インクルージョン	・高齢者が活躍できる環境づくりを進めている(安全確保のための設備の導入、職場環境の改善等)		8.8、10.2
		・障がい者が活躍できる環境づくりを進めている(安全確保のための設備の導入、職場環境の改善等)		8.5、10.2
		・外国人を雇用しており、当該外国人材が活躍できる職場環境づくりを進めている(外国人社員の日本語能力向上支援、宗教や食文化への対応等)		10.2
		勤務形態	・リモートワーク、フレックスタイム等を導入し、柔軟な勤務形態(場所・時間)を認めている	○ 5.4、8.2
社会貢献	地域貢献	・地域の自治体やコミュニティ(自治会等)と交流する機会を設けている	○ 11、12.8、17.16、17.17	4 働きがいも経済成長 11 地域活性化 12 つくる責任 17 パートナーシップ
		・地域に貢献する活動(寄付、地域の防災・清掃活動等)を実施している	○ 11、12.8、17	
		・地域の次世代を担う人材育成(子供たちへの就業体験、キッズスクール等)を実施している	○ 4、11、12	
	SDGsの普及啓発	・地域社会に向けてSDGsの普及啓発(講演、講習等)や情報発信(ホームページ、SNS等)を展開している	○ 11、12.8、17.16、17.17	
その他		・社会に資する取組み( )	自由記載 非加点	

16

大項目	中項目	小項目	回答	ゴール・ターゲット
1 2 3	経済	公正な競争	・不正な競争・取引の禁止、汚職・贈収賄の禁止を社内規程(就業規則等)に定めている	○ 16.4、16.5
		知的財産保護	・知的財産権を侵害しないよう、適切に対応している	○ 16.4、16.5
		サプライチェーン管理	・取引先に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請している	○ 9.3、12.3、12.4
4 5 6 7 8 9	製品・サービス	製品・サービスの安全性と品質	・製品安全に関する方針・目標・組織体制・基準等を定めている	○ 9.12
		環境配慮	・製品・サービスにおいて、環境への負荷軽減に配慮している(CO2の削減、省エネ、廃棄物の削減、リサイクルしやすい製品設計等)	○ 6、7、9、12、13、14、15
		社会課題解決	・製品やサービスにおいて、社会課題解決を考慮している(人手不足の解消、地域の活性化等)	○ 8、9、11
		地産地消	・地元の原材料、製品、サービス等を優先的に活用している	○ 12.8、12b
		DX(デジタル・トランスフォーメーション)	・デジタル技術を活用し、業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる	○ 8、9、11、12
		パートナーシップ	・異業種連携により、新たなビジネスや付加価値の創出に取り組んでいる	○ 17
		その他	・経済に資する取組み( )	自由記載 非加点
				6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなで守るために 8 働きがいも経済成長 9 耕農と林業の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくり 12 つくる責任 13 経済活性化 14 海の豊かさを守る 15 権の豊かさを守る 17 パートナーシップで目標を達成しよう